

ICT活用工事の講習会・現場見学会を開催します!

～ 建設現場の生産性を向上させ、魅力ある建設現場を目指して ～

国土交通省中村河川国道事務所では、建設現場の生産性向上を図る「i-Construction」(※1)の取り組みとして、起工測量、施工、監督・検査時の一連のステップでICT(※2)を活用する土工・舗装工事を推進しているところです。

今回、「i-Construction」の一層の推進及びICT活用推進に向け、ICTを活用した土工工事の施工に必要な技術的内容の講習会、現場見学会を開催しますのでお知らせします。

※1 「i-Construction」は建設現場における生産性を向上させ、魅力ある建設現場を目指す取り組みで、「i-Construction」の3本柱のひとつが「ICTの全面的な活用」です。

※2 ICT: Information and Communication Technology=情報通信技術

[日 時] 平成31年 1月28日(月) 13:30～16:30

※スケジュール: 別紙-1参照

※小雨決行(荒天時は中止します。)

[場 所] ①講習会 : ^{くろしおちょう さ が}黒潮町佐賀支所横 黒潮町総合センター(別紙-3参照)

②現場見学会 : ^{こぶしのかわ くぼかわ さ が どうろ}黒潮町拳ノ川(窪川佐賀道路: H30 拳ノ川改良第1工事 現場)
(別紙-2・4参照)

[参 加 者] ・中村河川国道事務所管内の建設業者、高知県建設業協会幡多支部連合会、自治体関係者
・50名程度

[そ の 他] 取材を希望される報道関係者の方は、1月24日(木)17:00までに以下の「問合せ先」までご連絡をお願いします。安全のため事前登録制とさせていただきます。

本施策は、四国圏広域地方計画の広域プロジェクト【N○. 5地域の自立的・持続的発展に向けた「資国」産業競争力強化プロジェクト】の取組に該当します。

問合せ先

国土交通省 四国地方整備局 中村河川国道事務所 TEL0880-34-7301(代表)

副所長(道路) ^{えがわ まさかつ}江川 昌克 (内線205)

○ 工務第二課長 ^{まつもと よういち}松本 洋一 (内線411)

○主な問合せ先

1) 講習会、現場見学会のスケジュール

○平成31年 1月28日(月)

時 間	内 容
13:00 ~	受付(黒潮町総合センター)
13:30 ~ 13:35	講習会 開会
13:35 ~ 14:10	1. i-Constructionの最新の取組情報
14:00 ~ 14:30	2. ICT活用推進に係る取組紹介
14:30 ~ 15:00	3. ICT建設機械の技術と今後の展望
15:00 ~ 15:30	現場へ移動(集合場所:佐賀温泉こぶしのさと駐車場)
15:30 ~ 16:30	現場見学会(PRスポット、ICT建設機械等を用いた実演)、質疑応答
16:30	閉会

★講習会、現場見学会を取材される報道関係者の皆様は、開始時間までに各会場(別紙-3, 4)にお集まりください。

★ヘルメットは主催者で準備しますが、汚れてもかまわない服装・長靴でお集まりください。

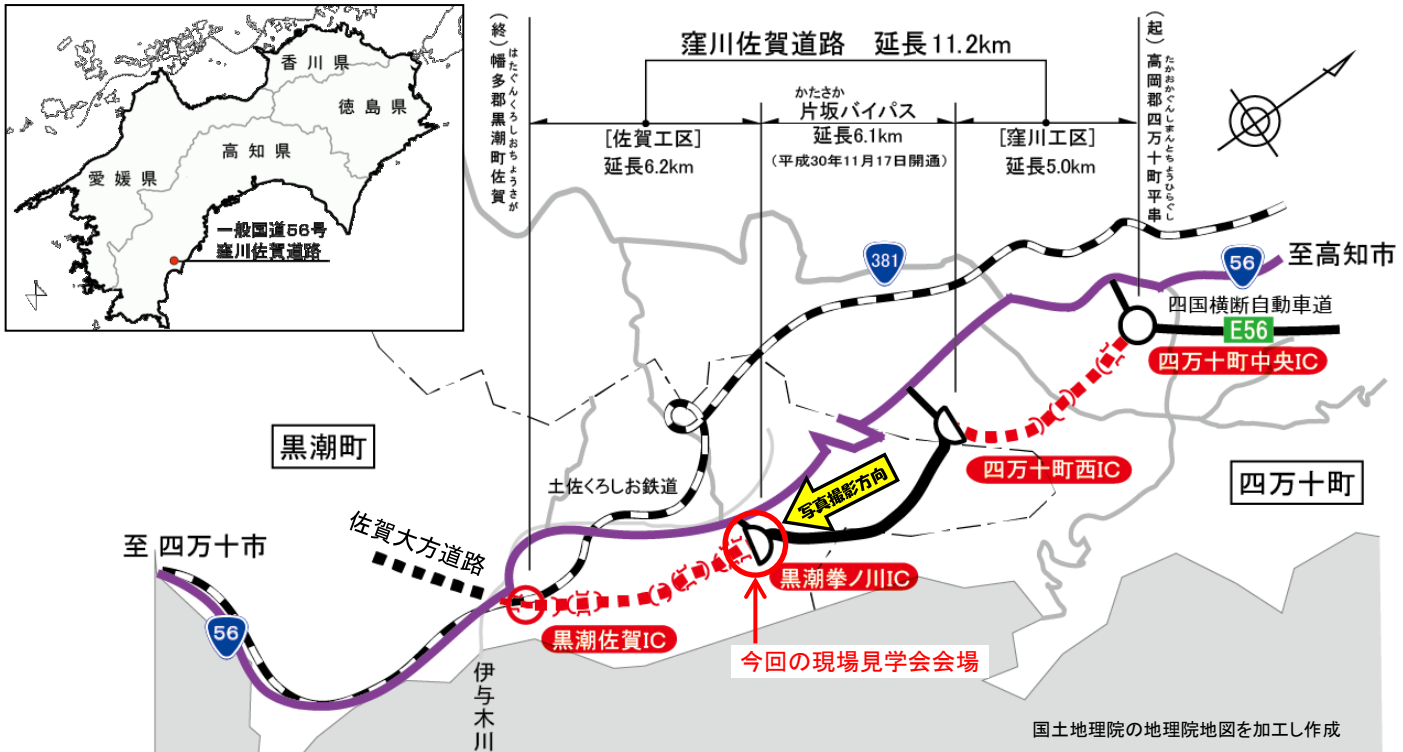
★小雨決行。(荒天時は中止します。)

【一般国道56号窪川佐賀道路について】

【概要】

一般国道56号窪川佐賀道路は四国横断自動車道及び片坂バイパスと接続して高規格ネットワークを形成し、災害時における緊急輸送道路の確保や医療施設までの速達性向上、地域産業の活性化を図ることを目的とする道路。

【位置図】



■ 上空から見た工事箇所

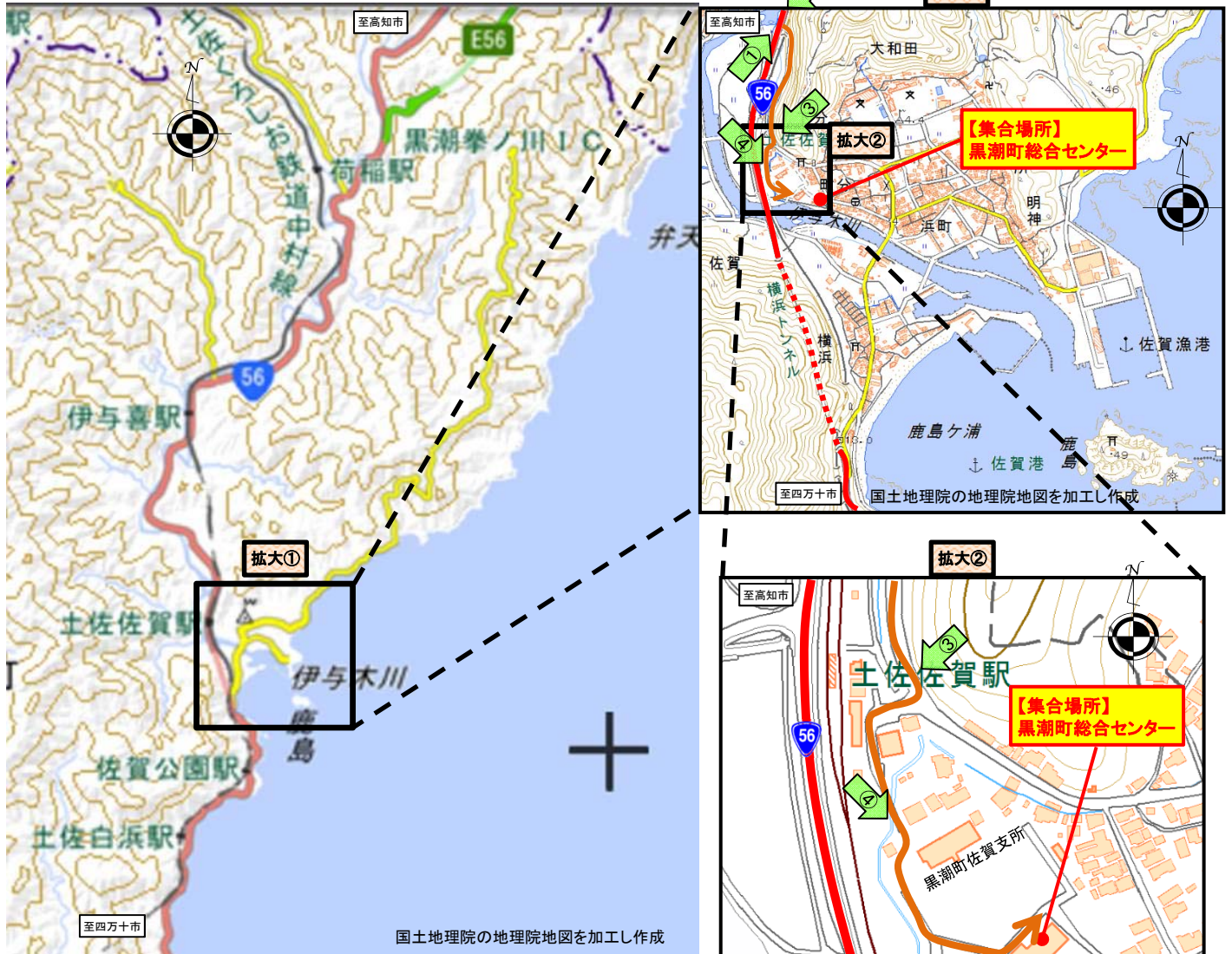


■ 工事現場の状況

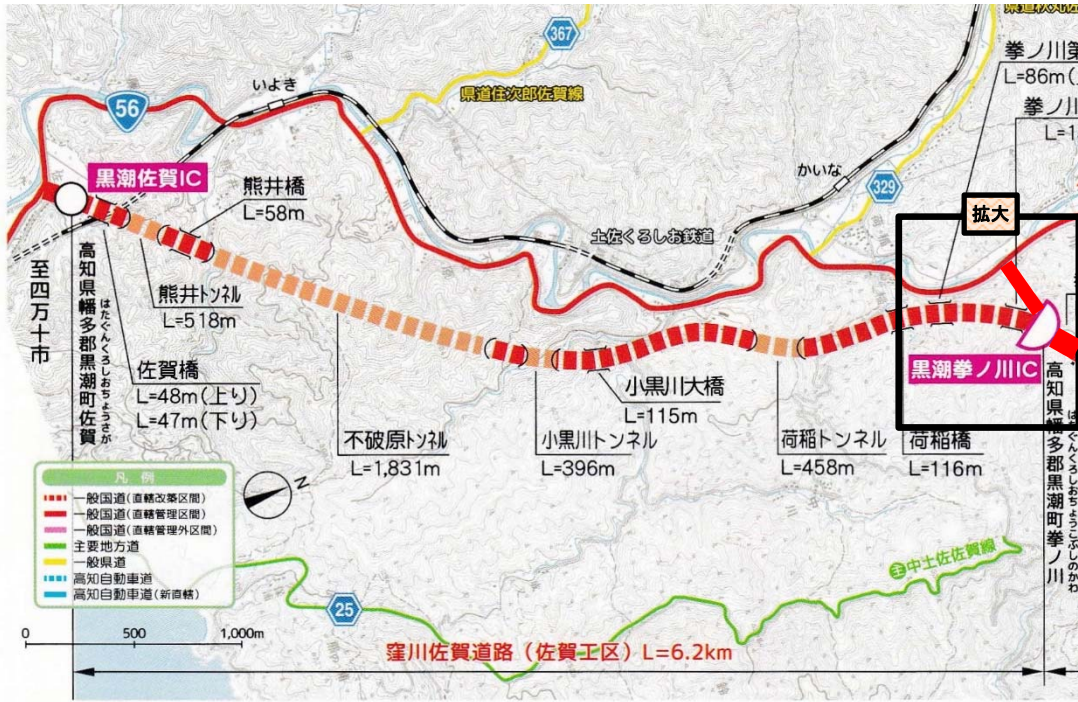


(平成31年1月8日現在の状況)

●①講習会（会場）



●②現場見学会（場所）



E56

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地図25000を複製したものである（承認番号 平29四復、第6号）

拡大

【集会所】
土佐佐賀温泉「こぶしのさと」
駐車場

この地図は国土地理院の
地理院地図を使用したものである

【見学場所】
こぶしかわ
拳ノ川改良第1工事 PRスポット

【見学場所】
こぶしかわ
拳ノ川改良第1工事 (ICT建設機械等を用いた実演)

※集会所の
駐車場からは
車で移動

写真① 国道からの進入口
(高知市方面より)

至高知市

集会所
「こぶしのさと」

写真② 国道からの進入口
(四万十市方面より)

至高知市

集会所
「こぶしのさと」

写真③ 施工現場への進入口

ICT PRスポット

写真④ 施工現場周辺

至四万十市
インター出入口

■ 今回の **講習会**、**現場見学会** の対象

別紙—参考資料

①ドローン等による3次元測量

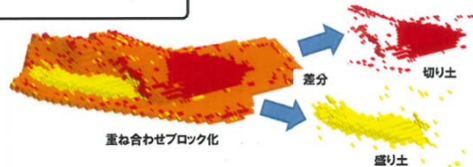


ドローン等による写真測量等により、短時間で面的(高密度)な3次元測量を実施。

②3次元測量データによる設計・施工計画



3次元測量データ(現況地形)と設計図面との差分から、施工量(切土、盛土量)を自動算出。



③ICT建設機械による施工

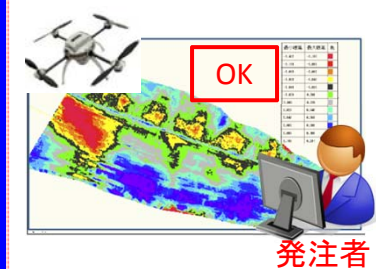
3次元設計データ等により、ICT建設機械を自動制御し、建設現場のIoT(*)を実施。



*IoT(Internet of Things)とは、様々なモノにセンサーなどが付され、ネットワークにつながる状態のこと。

④検査の省力化

ドローン等による3次元測量を活用した検査等により、出来形の書類が不要となり、検査項目が半減。



発注者

i-Construction

測量

設計・
施工計画

施工

検査

これまでの情報化施工の部分的試行

①

②

3次元
データ作成

③

・重機の日当たり
施工量約1.5倍
・作業員 約1/3

2次元
データ作成

④

従来方法

測量

設計・
施工計画

施工

検査



測量の実施



平面図 縦断面図
横断面図
設計図から施工土量を算出



設計図に合わせて
丁張り設置



丁張りに合わせて
施工



検測と施工を繰り返し
返して整形



書類による検査